

秘

35

生徒終末教育参考資料

昭和十六年三月

通信士勤務参考書

海軍兵學校

要濟後返却スベシ
本人死亡ノ際ハ遺族ヨリ返却スベシ

HP 『海軍砲術学校』 公開史料

ノモ
ノ
ヲ
基礎
ト
シ
タ
リ

本書ハ昭和十四年練習艦隊發行

通信士勤務参考 目次

第一	總 說	一頁
第二	所掌竝ニ實施事項	四
一	通信科員ノ教育訓練	四
二	通信科ニ屬スル船體兵器	六
三	通信要務	八
四	帳簿關係	一三
五	報告關係	一四
第三	暗號關係	一七
一	暗號ノ教育訓練	一七
二	暗號使用上ノ一般注意事項	一八
三	暗號作製上ノ注意事項	一九
四	暗號翻譯上ノ注意事項	二〇

通信士勤務參考

第一 總 說

一 通信長ノ任務

通信長ハ艦長ノ命ヲ承ケ通信科員ヲ監督シ、戰鬪ニ當リ其ノ指揮ヲ執リ電信ニ關スルコトヲ擔任シ、之ガ教育訓練ヲ掌リ主管ノ船體、艦船艙裝品及兵備品ヲ整理ス（以下諸例則卷ノ一艦船令）而シテ右ニ對スル服務ノ細目ニ關シテハ艦船職員服務規程ノ定ムルトコロニ從フモノトス之ヲ要スルニ通信長ハ通信實施ヲ直接指揮監督シ一艦所通信力ノ全能發揮ト其ノ向上ニ對シ全責任ヲ有ス。特ニ左記諸項ニ對シ最善ヲ盡ス要アリ

- (一) 一艦所トシテ最モ適切ナル通信計畫及其ノ實施
- (二) 無線兵器及之ニ關聯スル諸裝置ノ整備保存竝ニ之ガ改良進歩ニ對スル研究
- (三) 通信科員ノ教育訓練竝ニ體力ノ保持
- (四) 諸種ノ狀況ニ適應スル應急裝置
- (五) 通信軍紀涵養振肅

(六) 通信要務ノ處理

(七) 通信狀況、空間狀態ノ觀測

(八) 適切ナル通信ノ運用

(九) 諸種ノ狀況ニ於ケル通信科員ノ指導監督

尙通信長任務遂行上研究知悉スベキ主ナル事項ヲ列舉スレバ次ノ如シ

イ 無線通信ノ學理及其ノ應用特ニ通信法ノ運用ニ通曉スルコト

ロ 通信關係諸法規ニ通ズルコト

ハ 無線兵器及之ニ關聯スル諸裝置ノ機構性能取扱ヲ熟知スルコト

ニ 暗號法

ホ 通信科員ノ教育訓練法

ヘ 受信技術及出來得レバ送信技術ニ相當ノ技術ヲ有スルコト

ト 各科トノ一致協調

チ 通信科員以外ニ對スル通信上ノ智識普及理解ノ増進

二 通信士ノ任務

通信士ノ任務ハ通信長ノ命ヲ承ケ服務シ、其ノ業務ヲ分擔補助スルニアリ。故ニ通信要務ノ遂行、

内務ノ整理、暗號、通信ノ一切ニ任ジ通信科ニ屬スル教育訓練、部署、配員、兵器ノ保存整備其ノ他關係下士官以下ノ人事ヲ詳知シ、其ノ服務狀況ニ注意スル等事巨細トナク通信長ノ手足トナリ、其ノ計畫實施ヲ補佐スルニ在リ

尙通信士ハ通信長所掌ノ業務ヲ補助分擔スルノミナラズ、通信長事故アラバ之ニ代ツテ其ノ職務ヲ繼承シ得ルノ自信ト覺悟ヲ有セザルベカラズ。故ニ常ニ通信長ノ項ニ述ベタル所ニ準ジ其ノ職務上研究知悉スベキ事項ニ關シ最善ノ努力ヲ拂フノ要アリ

三 現今戰略戰術通信ハ總テ秘密通信ニシテ之ガ實施ノ良否ハ通信全體ノ良否ヲ左右スルト謂フモ過言ニ非ズ。現今艦隊ニ於テハ通信士ハ概ネ暗號士兼務ニシテ且實質上暗號長ニシテ、暗號要務ノ遂行、暗號員ノ教育ヲ計畫實施セザルベカラズ。故ニ常ニ諸暗號法ヲ熟知シ暗號教育ヲ勵行シ暗號員ノ技倆ヲ向上セシメ暗號要務ノ圓滑ヲ圖ルベク研究按畫實施セザルベカラズ

四 驅逐艦潜水艦ニ在リテハ實質上通信長ニシテ通信長職務ヲ代行ス

此ノ場合一段ノ研究努力ヲ要シ其ノ職務ヲ遂行スル自信ト覺悟ヲ要ス。又小艦艇ノ電信員ハ頗ル居住惡シキ所ニテ激烈ナル勤務ニ服スルガ故ニ保健ニ關シテハ十二分ノ注意ヲ要ス。努メテ保健行軍ヲ實施シ或ハ體操ヲ勵行セシメ、電信室ノ通風換氣ノ方法ヲ講ズル等萬全ノ策ヲ採ラザルベカラズ

第二 所掌竝ニ實施事項

四

一 通信科員ノ教育訓練

一艦ノ軍隊教育ハ基本長軍隊教育規則ニ依リ毎教育年度ノ始メニ該基本部ノ教育計畫ニ於テ決定シ達シ實施スルモノトス。而シテ基本部ノ教育計畫ハ艦ノ任務行動ニ依リ異ルモ其ノ内容ハ概ネ左ノ如シ

(イ) 教育方針

(ロ) 教育期間別

(ハ) 教育實施要領

(一) 通信科教育計畫竝ニ指導

通信長ハ基本長ノ命ヲ承ケ通信科ノ部署ニ關スル訓練ヲ指導監督シ、又通信科教育主任者トシテ之ガ一般ノ教育ヲ按畫指導シ要スレバ自ラ之ガ實施ニ任ジ其ノ進歩ノ齊一ヲ圖ルモノトス

(二) 通信科ノ教育訓練ノ實施

A 通信訓練

1 通信訓練ノ目的

(イ) 各級指揮官ヲシテ通信法ヲ研究練磨セシム

(ロ) 通信關係員ヲシテ各擔任ノ業務ニ習熟セシム

(ハ) 初級士官及兵曹長ヲシテ當直勤務ニ必要ナル通信規定、暗號書ニ習熟セシム

2 訓練ノ種類

(イ) 部隊通信訓練 教練通信、戦闘通信、研究通信ニ種別ス

(ロ) 各個通信訓練 日常訓練、通信檢定ニ分ツ

3 通信檢定

所屬長官ハ毎年通信檢定實施ニ關スル標準ヲ定メ基本長ヲシテ通信檢定ヲ施行セシムルモノトス、所屬長官必要ト認ムルトキハ部下各基本部ノ全部又ハ一部ヲ聯合シテ通信檢定ヲ施行スルコトアリ。通信檢定ハ掌電信兵檢定、暗號員檢定ニ分ツ

4 報 告

通信訓練ニ關スル報告ハ内令提要卷ノ一、通信訓練規則ニ在リ

B 各配置ニ對スル各員ノ業務ハ徹底的ニ會得セシムルヲ要ス。之ガ爲左記事項ハ各員ヲシテ確平タル自信ヲ以テ操作服務セシムルコト緊要ナリ

(イ) 擔任兵器器具裝置ノ構造取扱其ノ他必要ナル事項

- (四) 通信關係諸法規ノ活用
 - (ハ) 交信ノ技術
 - (ニ) 關係諸訓練諸作業ノ研究
 - C 教育訓練ニ於テ考慮スベキ事項
 - (イ) 通信軍紀ノ涵養
 - (ロ) 通信關係諸法規竝ニ各種通信法ノ通曉
 - (ハ) 送受信技術ノ向上
 - (ニ) 兵器及諸裝置ノ性能竝ニ之ガ取扱法ノ練磨
 - (ホ) 通信事務
 - (ヘ) 體 育
 - (ト) 常識教育
 - (チ) 相對的相關性ヲ會得セシメ互讓ノ精神ノ涵養
- 二 通信科ニ屬スル船體兵器
- (一) 通信長主管ノ船體兵器
- (イ) 船 體

(ロ) 艦船々體、其ノ他ノ主管並ニ分擔ニ關スル規程 (諸例則卷ノ一 官制)
艦艇艤裝品

艦船造修検査規則ノ艤裝品目錄 (諸例則卷二 艦船兵器造修)

(ハ) 兵備品

1 兵器(備品、消耗品、材料品、貸與品)

兵器經理規程 (會計法規類集下卷 兵備品)

2 艦營需品(備品、消耗品、材料品、貸與品)

艦營需品經理規程 (會計法規類集下卷 兵備品)

(ニ) 供用兵器

通信長主管兵器簿(掌通信長保管)

其ノ艦ノ供用兵器ノ種類、數量ヲ知悉スルニハ一ニ之ニ依ル

(三) 兵器ノ保管出納及整備

之等ハ主ニ掌通信長ノ要務ニ屬シ通信長監督ノ下ニ掌通信長ノ掌ル所ナリ

(四) 兵器ノ検査修理

兵器ノ修理検査ハ規定アルモノノ外出來得ル限リ艦員ニ依リ行フヲ原則トスルモ、然ラザルモ

ノハ兵器造修検査規則ニ據リ所在工廠ニ請求スルモノトス。参照スベキ事項概ネ左ノ如シ

兵器造修検査規則 (内令提要 兵器物品)

無線電信機、無線電話機及其ノ裝置ノ呼稱 (内令提要)

三 通信要務

(一) 通信要務ノ意義

通信要務トハ通信實施ニ關聯セル必要ナル業務ノ總稱ナリ。其ノ目的ハ實ニ通信實施ニ於テ通信ノ要旨タル迅速確實ニ適合セシメンガ爲ニ外ナラズ。本要務ノ良否ハ直接間接通信ノ効果ヲ左右スルモノナルヲ以テ常ニ之ガ完璧ヲ期セザルベカラズ

(二) 通信實施ニ關スル關係諸法規

(イ) 内國ノ部

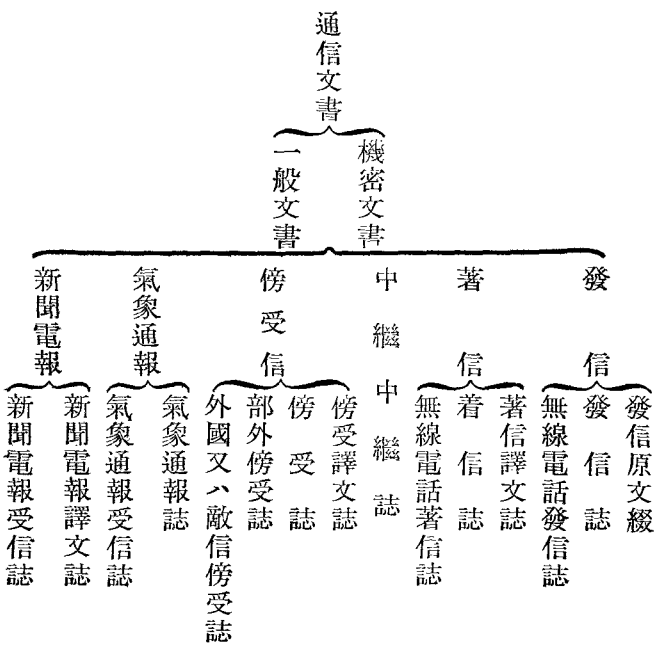
- | | | | |
|---|------------|-----|---------|
| 1 | 海軍無線通信規程 | 同別冊 | 海軍秘密圖書 |
| 2 | 海軍軍機電報取扱内則 | | 内令提要卷ノ一 |
| 3 | 無線電信法 | | 諸例則卷ノ二 |
| 4 | 海軍無線電報規則 | 同 | 右 |
| 5 | 海軍無線電報取扱規約 | 同 | 右 |

- | | | | |
|----------|---|---|------------------------|
| 6 | 戰時事變又ハ演習ニ際シ遞信省所管無線電信
海岸局ニ於ケル海軍通信取扱ニ關スル規約 | 同 | 右 |
| 7 | 各鎮守府要港部ニ於ケル通信實施ニ關スル諸規程 | 各鎮守府要港部ニ於ケル通信實施ニ關スル諸規程 | 各鎮守府要港部ニ於ケル通信實施ニ關スル諸規程 |
| 8 | 各艦隊ニ於ケル通信規程 | 各艦隊ニ於ケル通信規程 | 各艦隊法令 |
| 9 | 通信訓練規則 | 通信訓練規則 | 內令提要、戰鬪訓練規則草案 |
| 10 | 海軍無線氣象通報取扱規程(甲)(乙) | 海軍無線氣象通報取扱規程(甲)(乙) | |
| 11 | 其ノ他內令、達號、公報中通信關係諸事項 | 其ノ他內令、達號、公報中通信關係諸事項 | |
| (四) 外國ノ部 | | | |
| 1 | 國際無線電信條約 | 國際無線電信條約 | 諸例則卷ノ三 |
| 2 | 同右附屬業務規則同附表 | 同右附屬業務規則同附表 | 同 |
| 3 | 國際通信書(電信篇) | 國際通信書(電信篇) | 同 |
| 4 | 日支無線電報規則 | 日支無線電報規則 | 諸例則卷ノ二 |
| 5 | List of Station Performing special Services | List of Station Performing special Services | |
| 6 | List of Fixed and Land Station | List of Fixed and Land Station | |
| 7 | List of Ship Station | List of Ship Station | |

② Liste alphabétique des indicatifs d'appel

③ 通信文書ノ整理

(1) 左記ノ如ク區分集綴スルヲ可トス



- 1 暗號文ヲ使用シタルモノヲ機密文書其ノ他ヲ一般文書トシ機密文書ノ綴ニハ「機密發信誌」ノ如ク「機密」ナル字句ヲ冠ス
- 2 發信文書ハ發信番號順ニ綴録ス
- 3 發信文書以外ハ著信又ハ受信時刻順ニ綴録ス
- 4 發信及著信文書ハ後日索出ヲ容易ナラシムル爲各件名簿ヲ作製シ各要項、通信文ノ摘要ヲ記入シ置クヲ可トス
- 5 發信誌及著信誌ノ各電報用紙ニハ周波數使用セシ兵器ノ状態、通信狀況等交信諸元ヲ記入シ置キ後日交信上調査ヲ要スル事項ノ生ジタル場合之ガ資料タラシムルヲ可トス
- 6 中繼信ハ其ノ手續ヲ終リタルモノハ譯文、傍受ヲ各別ニ綴録ス
- 7 傍受信文書ノ處理ハ著信ニ準ズ
- 8 部外電報ハ總テ部内ノモノト區分シテ集綴シ其ノ件名簿亦別ニ備フルヲ可トス
- 9 原文又ハ譯文綴ハ所要ノ向ニ届濟後之ヲ集綴スルモ一法ナレドモ、其ノ儘所要ノ向ニ保留セラレ綴ヨリ逸脱スル場合アルヲ以テ報告用以外ニ尙一 통控ヲ取り置クヲ可トス。但シ前記所要ノ向ニ保留セラルルモノハ保管、機密保持ニ關シテハ充分責任ヲ明ニスベシ
- 10 無線電話ニ依ル發著信ハ其ノ記録ヲ逸シ勝ナルヲ以テ正確ナル記録ヲ作製スル様留意スル

要アリ

(四) 通信實施ニ關スル處理竝ニ注意事項

處理ノ要旨ハ確實ト同時ニ費消時ノ短縮ニアリ

(イ) 艦外費消時ヲ大ナラシムル原因

1 通信計畫ノ適否

2 天象地象氣象ノ影響

3 交信法及實施ノ適否

4 交信距離ノ長短

5 相手受信者ノ數、技倆、兵裝等

(ロ) 艦内費消時ヲ大ナラシムル原因

1 通信文起案ノ適否

2 通信部署指揮ノ適否

(イ) 配員、兵器、配列ノ適否

(ロ) 緩急ニ關スル處理

(ハ) 時機ヲ失シタル電文ノ處理

(二) 當務者間ノ連絡

3 無線兵器關聯豫備裝置ノ整備共ノ活用ノ適否

4 通信事務ノ適否

(イ) 要務員ノ員數

(ロ) 數緊張味、敏活ノ程度

(ハ) 要務員ノ連絡

(ニ) 報告、通達ノ手段

(ホ) 暗號事務ノ適否

(ヘ) 着信者所在ノ明示

(ト) 各室ノ配列ノ適否

四 帳簿關係

(一) 通信科ニハ掌通信要務ニ於ケル兵器竝ニ艦營需品ノ保管出納ニ必要ナル諸帳簿ノ外左ノ諸書類

ヲ要ス

1 通信術要誌

2 現狀報告簿

3 蓄電池要誌

4 教育記録

五 報告關係

- | | | | |
|----|------------|----|-----------|
| 5 | 教育日誌 | 6 | 無線日誌 |
| 7 | 發着信誌 | 8 | 中繼誌 |
| 8 | 傍受誌 | 10 | 象氣通報誌 |
| 11 | 電池試驗成績簿 | 12 | 修理請求稟申簿 |
| 13 | 通信長通達簿 | 14 | 通信科報告綴 |
| 15 | 通信關係雜綴 | 16 | 電路圖(無線關係) |
| 17 | 船體船具保存整理原簿 | | |
- (二) 通信上電信室ニ備フベキ諸表左ノ如シ
- | | | | |
|---|-----------------|---|--------------|
| 1 | 海軍通信隊所在圖表(附通信系) | 2 | 無線電信艦所名符號一覽表 |
| 3 | 通信略語表 | 4 | 直距表 |
| 5 | 日本竝ニ世界地圖 | | |

提出期日	項目	數	提出先	記事
每月一回	通信術要誌	一	艦長	
每月頭	船體船具保存整理原簿	一	艦長	
每月頭	教育記錄	一	艦長	
每月一日	現狀報告	一	所屬兵備品會計官吏	
每月五日	第一種消耗兵器消耗報告	一	海軍大臣	
每年	艦營需品現況報告	一		
四月三十日				

其ノ他戰鬪通信、各種教練通信、研究通信、通信檢定及臨時諸作業ニ對スル報告ハ夫々ノ規定ニ依ルモノトス

(備考)

通信士勤務ノ基本的要點

一、自艦兵器設備ノ熟知

二、故障ノ起リ易キ個所ノ調査及對策ノ研究

三、裝備兵器ノ確實ナル性能判定

四、應急處置確立(火災等)

五、通信費消時（特ニ艦内費消時）短縮對策研究

六、電信員、暗號員ノ訓練（可成實戰的狀況ヲ作爲シ）研究

七、諸規程ノ熟知、艦隊（戰隊）ノ計畫（通信以外モ）等ハ必要ナル部分ヲ電信員、暗號員ヲシ

テ了解セシメ置ク要アリ

八、部下ヲ克ク知ルコト（特性及技倆等）

九、平常ト異ル通信狀況ハ必ズ部下ヲシテ速ニ報告セシムルコト

一〇、部下ノ保健ニ注意シ（體操、運動、行軍等ニ依リ）萬全ヲ期スルコト

一一、日々ノ電報ハ毎日一括再覽研究シ萬全ヲ期スルコト（通達費消時ノ調査、電報ニヨル令達、

報告ノ整理等ヲ行フ）

第三 暗號關係

一 暗號ノ教育訓練

1 暗號員ノ人選

機密保持上或ハ技倆上能フ限リ優秀ナル下士官ヲ選出スルヲ要ス。暗號員トシテ具備スベキ性能ヲ舉グレバ次ノ如シ

- (イ) 人格優秀、責任觀念、體力共旺盛
- (ロ) 頭腦明晰緻密「アルファベット」ノ素養アル者
- (ハ) 冷靜粘リ強イ
- (ニ) 常識豊富判斷力ニ富ム
- (ホ) 記憶力強ク推理力大
- (ヘ) 筆跡良好ニシテ事務的才能ヲ有ス

2 教育訓練項目

- (イ) 準備教育

暗號取扱法一般、誤謬發見法、現用暗號諸表ノ種類竝ニ其ノ性能、電信符號、「ローマ」字及簡單ナル英語、通信ニ關スル諸規程、執務上ノ注意事項、通信整備事務

(四) 基本訓練

各種暗號ノ作成翻譯

(五) 應用訓練

(六) 檢定

3 實施上考慮スベキ事項

(イ) 基本訓練ハ配員ヲ特定セズニ教育ス

(ロ) 應用訓練ハ配員ヲ特定シ専門的ニ教育ス

(ハ) 下士官暗號員ノ教育ハ理論ヨリモ實際ニ教育スルヲ要ス

(ニ) 滿期後ノ機密保持ニ關シ之ヲ嚴守スル様特ニ教育スルヲ要ス

二 暗號使用上ノ一般注意事項

1 用途ニ應ジ暗號書ノ撰擇ヲ誤マラザルコト肝要ナリ。殊ニ其ノ使用區分、構成、秘密ノ程度、作製翻譯ノ費消時ヲ熟知シ通信文ノ性質ニ應ジ撰擇ヲ適切ニシ之ヲ指定スルハ指揮官トシテ肝

要ナリ

2 暗號ノ解讀ハ必ず可能ナリトノ信念アルヲ要ス

3 暗號文ハ決シテ平文ト混用スベカラズ

4 一旦暗號ヲ以テ發信セシ事項ハ勿論之ニ關聯セル内容ヲ有スル通信ハ機密ノ如何ヲ問ハズ同一種類ノ暗號ヲ以テ行フベシ

5 暗號電文ノ字體ハ明瞭ナルヲ要ス

6 暗號文ト原文又ハ譯文ハ決シテ同一紙上ニ記載スベカラズ

7 戰術運動、警戒航行、出入港ニ於テ電話ヲ使用スル場合稍モスレバ暗號文又ハ信號符字ト平文トヲ混用スル虞アリ

8 暗號書表ノ使用保管状態ヲ屢々檢スベシ

9 暗號ノ作製翻譯ニ使用シタル反古類ハ當事者責任ヲ以テ燒却處分スベシ

三 暗號作製上ノ注意事項

1 使用規程嚴守ノコト

2 信文中ニ反覆使用セラルル字句ハ出來得ル限り異リタル符字ヲ使用スベシ

3 所要暗號符字ヲ誤ラザル様注意スベシ

4 暗號作製終ラバ作成ニ誤ナキヤヲ檢スルコト、穴字誤字アルトキハ翻譯上極メテ困難ナリ

四 暗號翻譯上ノ注意事項

- 1 先ヅ使用暗號ノ種類ニ著眼スルヲ要ス
- 2 暗號ニ誤謬アル場合ニハ之ガ判讀ニ當リ必ズ正當ナル根據アルヲ要ス
決シテ憶測官斷ヲ行フベカラズ、解釋ニ疑問ノ點アラバ？符ヲ附スベシ
- 3 翻譯ハ誤謬判斷ト心得フベシ
- 4 翻譯極メテ困難ナル場合ニハ著信者又ハ所在指揮官ニ報告シテ其ノ特令ヲ受クベシ。翻譯不能ナリトテ長時間自己ノ手許ニ留置スルガ如キコトアルベカラズ
詳細ハ海軍暗號教範（軍事教育圖書、航海士保管）ニ明記シアリ、必ズ熟讀シ誤ナキヲ期スベシ

通信士勤務參考書 終